



Nomura Research Institute Group

NEWS RELEASE

2026 年 8 月 27 日

NRI セキュアテクノロジーズ株式会社

NRI セキュア、AI をはじめとするエマージングテクノロジーの 利活用を支えるセキュリティガバナンス構築支援サービスを提供開始

～先端技術の研究開発・業務での積極利用とリスク管理を両立～

NRI セキュアテクノロジーズ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：池田泰徳、以下「NRI セキュア」）は、AI をはじめとする先端技術（以下「エマージングテクノロジー」）の研究開発やその利活用に取り組む企業・組織に対し、「エマージングテクノロジーに関するセキュリティガバナンス構築支援サービス（以下「本サービス」）」の提供を本日開始します。

■ 本格化するエマージングテクノロジーの社会実装

AI、サイバネティック・アバター¹、デジタルツイン²などのエマージングテクノロジーの社会実装が急速に進むなか、これらの開発・研究および利用にあたっては、随時変化していく技術に応じてセキュリティ対策の見直しが必要とされています。また、2026 年 7 月に閣議決定された「統合イノベーション戦略 2026」³においても、科学技術・イノベーションを成長戦略や経済安全保障の重要な基盤として推進するとともに、研究環境の保護や技術の流出防止の重要性が示されています。

■ 本サービスの概要と特長

本サービスでは、エマージングテクノロジーを研究開発する組織と利用する組織双方に対して、それぞれの課題に応じたセキュリティガバナンスの構築を支援します。例えば、研究開発を行う組織では、研究成果や技術情報の保護、外部との共同研究における情報管理、技術流出リスクへの対応などが課題となります。一方、業務でエマージングテクノロジーを活用する組織では、利用ルールの整備、責任体制の明確化、機密情報の取り扱い、利用状況の把握などが課題となります。

本サービスは、こうした課題に対して、リスクの整理、管理方針の策定、利用ルールや運用体制の整備、技術的対策などの検討を行い、企業・組織に応じたセキュリティガバナンスの構築を支援するものです。

本サービスの主な特長は、以下の3点です。

1. 真に回避すべきリスクを見極め、技術活用とリスク管理を両立

本サービスでは、エマージングテクノロジーの研究開発や利用による効果と、リスク管理の両立を目指したセキュリティガバナンスを提案します。過度な制限によって研究開発や技術活用の機会を損なわないよう、技術活用の目的や利用状況に応じてセキュリティ上のリスクを整理し、管理方針や利用ルール、技術的対策の検討を支援します。

2. 方針策定から技術的対策まで一貫して支援

ポリシー整備やリスク管理などの組織的対策に加え、アクセス管理、ログ管理、データ保護、監視などの技術的対策の検討も支援可能です。リスク管理方針やセキュリティ対策を継続的に見直し・改善する「アジャイル・ガバナンス」の考え方と、コンサルティングからソリューション導入、運用・監視までをワンストップで提供する NRI セキュアの知見を組み合わせ、技術動向や法規制の変化に対応できる態勢構築を支援します。

3. エマージングテクノロジー分野における幅広い知見と支援実績

NRI セキュアはこれまで、AI 分野のガイドライン策定支援や利用ルール整備支援、耐量子計算機暗号 (PQC) ⁴への移行支援などに取り組んできました。加えて、エマージングテクノロジーに関する法規制や海外企業の態勢構築事例などの調査を通じて培った知見を活用し、利用組織の状況に応じた段階的なアプローチでセキュリティガバナンス構築を支援することが可能です。

本サービスの詳細については、次の Web サイトをご参照ください。

<https://www.nri-secure.co.jp/service/consulting/emerging-technology-security-governance>

NRI セキュアは今後も、企業・組織の情報セキュリティ対策を支援するさまざまな製品・サービスを提供し、グローバルな規模で安全・安心な情報システム環境と社会の実現に貢献していきます。

¹ サイバネティック・アバター：仮想空間の自分の体（アバター）を操作することで、現実空間の機器を遠隔操作する技術。同一の操作を複数の機器に対して同時に実施することも可能。

² デジタルツイン：現実空間で収集したデータを用いて、仮想空間上に現実と対応した「双子」のような環境を再現する技術。高度な分析やシミュレーションに利用されている。

³ 統合イノベーション戦略 2026：日本政府が公表した科学技術・イノベーション政策の基本方針。詳細については、次の Web サイトをご参照ください。<https://www8.cao.go.jp/cstp/tougosenryaku/2026.html>

⁴ 耐量子計算機暗号 (PQC)：将来の量子コンピュータによる暗号解読リスクへ対応するための次世代暗号技術。

【ニュースリリースに関するお問い合わせ】

NRI セキュアテクノロジーズ株式会社 広報担当

E-mail：info@nri-secure.co.jp